



2月16日(土)に母校101教室にて  
第35回写真専会総会・同窓会が開催された。  
赤澤会長の明るく元気な声が教室いっぱいに広がった。  
沖縄から仙台までの卒業生・在校生が集まり  
盛大なパーティーとなった。

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.56

## UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY



赤澤会長は常に笑顔。常に元気。  
溢れる熱いパワーに癒され、  
勇気をいただきます。  
ありがとうございます。

司会の岡村幹事の名調子で温かく宴はスタートした。同窓会から在校生の卒業作品に賞が送られ在校生たちからは喜びの声が大きく上がった。昨年末には山村善太郎さんが写真集、個展を開いた報告に加えて、3月に写真展ならびに写真集を発売されるマツシマスムさん、写真学科専任教員の松本欣二さんは銀座、大阪のニコン・ギャラリーで個展を開くこと、6月には鳥取の庄司丈太郎さんが写真集を出版する予定など活気溢れるニュースが報告された。在校生たちには新鮮な刺激を与えた。毎年2月に開かれる、在校生たちによる卒業作品・校内展にあわせて写真専会は開催される。この校内展には在

校生の家族、出身校の仲間たち、本校卒業生など多くのゲストが来校して作品を観てくれる。嬉しいのは北海道から、東京から、北陸からと各地で頑張っている卒業生たちが顔を出してくれること。そんな交流の場が母校であることに誇りを感じる。在校生の作品と並び、特別企画として81歳になる第2期生の鋤田正義さん(東京在住)と37歳になる内倉真一郎さん(宮崎在住)の作品が飾られていて、来校者の目を引いていたのが印象的であった。卒業生が安心して落着くところが母校である。帰る居心地のいい場所があるというのはなんと幸せなことだろうか。(は)